

学校教育目標	一人ひとりがもてる力を発揮し、みんなと一緒に育つ ～一人ひとりの願いや思いを大切に、生きる力を育む～											
	学校概要	創立 5 周年	学校長 加藤 貴久	副校長 渡邊 雅彦	学期制	指定地域等						
	幼児・児童・生徒数:	61 人	幼稚部:	人	小学部:	40 人	中学部:	8 人	高等部本科:	13 人	専攻科:	人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	育成を目指す資質・能力を踏まえた 「(12)年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力 ・社会性 ・自己表現力 ・自己決定力 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで学び、自分の可能性を伸ばし続ける意欲のある子 ○自分を肯定し周りを思いやり支えあえる子 ○自分の考えや思いを伝え、さまざまな人とかかわりあえる子 <p>・授業の運営改善を通じて、「一人ひとりがもてる力を発揮し、みんなと一緒に育つ」ことができるよう、全教職員が意識して取組む。</p> <p>・地域の小中学校や地域の人と連携しながら、開かれた学校づくりを推進していく。</p>

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後を見据え、小学部から高等部まで一貫した指導を行います。 ・一人ひとりの良さを生かして育てる指導支援を行い、自尊感情を育むとともに、安心して楽しい学校生活が送れるようにします。 ・個に応じた指導を充実させ、自分の気持ちや考えを表現する力を育て、持てる力を発揮できるようにします。 ・毎日運動する(身体を動かす)機会を設け、運動の楽しさを実感するとともに、体力の向上と健康の保持を図ります。 ・人とのかかわりの中で、自分の好きなことや得意なことを伸ばそうとする態度を育てます。 ・地域の方やボランティアとともに活動する経験を通じ地域とのつながりを深めます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 「個別の指導計画」の活用促進 担当 学習指導	個々の実態とニーズに即し、個の良さを生かす指導・支援となっているが「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」をもとに確認し共有を深めて指導にあたる。
徳 道徳教育、自尊感情の育成 担当 人権教育推進、道徳	①自尊感情や自己有用感、仲間意識の向上を目指し、学校生活全体を通じて、できる体験と認め合う体験を重視した指導・支援の充実に向けた取組を推進する。 ②左近山地域や居住地域とふれあう活動を大切にするとともに、地域の人とのつながりや地域の社会資源を活用した学習を展開する。
体 食育、健康の保持、身体の動き 担当 保健・給食、自立活動	①食に関する様々な経験をするとともに、自分の体や健康について理解を深め、主体的かつ安全に活動しようとする意識を高める。 ②教職員の「自立活動」に関する理解を深め、PT・OT・STからの指導助言をいかしながら、各児童生徒の身体や感覚の特性に応じた指導の充実を進める。
公開 自分づくり教育(キャリア教育) 担当 総合、進路専任	①自分らしい生き方の選択・決定のため、個々の希望やニーズを踏まえ、可能性を広げる支援を行う。 ②保護者進路学習会の実施、福祉事業所動画を限定公開YouTubeに公開、地域機関での研修等、進路に関する情報を提供しより良い支援に取り組む。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①教職員自身の人権意識の維持・向上のために、研修等を適宜実施する。 ②児童生徒の関係性等について、教職員が常に情報共有を図り未然防止の取組を強化する。 ③児童生徒が自分のままの自分と他者を認めることができるような授業や指導・支援の在り方について、引き続き研究する。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 研究・研修、人権、教務	①人材育成指標を活用した本校のキャリアステージ研修により、教職員が相互に育て合う職場づくりを進める。 ②「児童生徒一人ひとりを大切にしたい学び」を行うと共に、組織運営の効率化を図る。
センター的機能の取組 担当 特支Co. 進路、地域、PTA	①関係諸機関との連携を進めるとともに小中高等学校への相談支援、研修の提供等をする。 ②副学籍校交流校へは当該児童生徒の特性や支援等についての説明を丁寧に行う。また、必要に応じて、教職員や児童生徒に対して障害理解や人権にかかわる研修等の取組を進める。
通学支援 担当 通学支援	①福祉車両に対するニーズを把握し、校内で共有する。特別支援教育課と連携し、安全・安心な通学支援体制を構築する。 ②スクールバス事業所及びスクールバス乗務員との連携を密にし、安全で確実な運行等についての検討を進める。
安全管理 担当 防災・防犯、医療的ケア	①教職員の防災・防犯等の意識を高めるため、研修や訓練などを通して課題を分析しながら、安全な学校づくりを進める。 ②ヒヤリハット事例の分析から、教育活動でのリスクを低減する対策を講じていく。
地域連携 担当 進路、地域、PTA	①地域行事へ教職員が参加したり地域の方に学校ボランティアへの参画を呼び掛けたりする。 ②地域のサービス基盤整備を進める役割を担う自立支援協議会に学校で把握した課題を持って参加する。 ③学校運営協議会等を通して地域の方とのかかわりを深める。